



**立ち止まる暇はない。次なる躍進へ
日立台で新たな勝ち波を引き寄せる!**

Vitória

KASHIWA REYSOL WINNING GUIDE



VOL.
521

みんなて楽しいスタジアムをつくろう。
J1、J2、J3、全クラブ共通の観戦マナーです。

- No Bribes or Cans
ビン、カン等の持ち込み禁止
- No Fireworks, Smoke, Candles or Horns
花火、爆竹、焚火、ガスターンの持ち込み禁止
- No Throwing
フォームドヘモの投げ込み禁止
- No Jumping Down to the Field
フィールドへの飛び降り禁止
- No Violence
暴力行為の禁止

2026/27
MEIJI YASUDA J.LEAGUE
DIVISION 1 SEC.6
2026.09.06 SUN

vs 横浜F・マリノス



チカラをひとつに。
- TEAM AS ONE -

開幕から続いた連勝は「4」で止まった。前節のセレッソ大阪戦では、連戦や暑さの影響もあり、立ち上がりから選手たちの動きに重さが見られた。古賀太陽は「コンディションの問題で高いパフォーマンスを発揮できなかった部分と、チームの組織として表現できなかったものを冷静に見極めながら、次に進まなければいけない」と振り返る。

一方で後半には相手を押しまし、決定的なチャンスも作った。敗戦の中で出た課題を修正しつつ、良かった部分

は次につなげたい。

特に改善したいのが試合の入りだ。東京ヴェルディ戦でも開始早々に失点しており、相手の勢いを受けて難しい展開を強いられた。相手が勢いよく来た際に、すべてをまとも受ける必要はない。相手の守備の狙いを外すためにも、前から来るハイプレスの矢印を折る選択肢も必要になるだろう。

今節の相手、横浜F・マリノスはステイブ・コリカ監督が就任。MF知念慶の加入で中盤の守備が強固になり、16歳の

MF三井寺真という若手選手の台頭もある。もともと個々の能力の高いチームが「守備の部分でもチームとして整理されている」（古賀）。だからこそ、相手に隙を与えず、自分たちのリズムで相手を動かしながら、効果的な攻撃を続けたい。

重要なのは敗戦を次の試合に引きずらないことだ。リカルド・ロドリゲス監督も「連敗は阻止しなければいけない」と強調する。前節の敗戦から得たものをピッチで示し、ホーム日立台で再び勝利を掴む。

**クラブ応援プランで、
レイソルの強化に協力しよう!**



加入はこちらから▲



**2026/27明治安田Jリーグ全試合を、
DAZNが配信。**

DAZN.COM

ハタメグミの
**お絵かき
日立台!**
~2026/27~

連勝はストップ
したけどレイソル
は止まらない~
~強いぞ~!!
今日も勝ってま
た新しい連勝を
スタートさせま
しょう!ゴーゴー!!



柏レイソル 横浜F・マリノスKASHIWA
Reysol

[監督] リカルド ロドリゲス

- 1 GK 猿田 遥己 
2 DF 三丸 拓 
3 DF 麻田 将吾 
4 DF 古賀 太陽 
5 MF 遠藤 溪太 
6 MF 山田 雄士 
8 MF 小泉 佳穂 
9 FW 細谷 真大 
11 MF 渡井 理己 
13 DF 犬飼 智也 
14 MF 大久保 智明 
15 FW 藤尾 翔太 
16 MF 木本 康也 
17 MF 手塚 康平 
18 FW 垣田 裕輝 
19 MF 仲間 隼斗 
20 MF 瀬川 祐輔 
21 MF 小西 雄大 
23 MF 長南 開史(2種) 
24 MF 久保 藤次郎 
25 GK 小島 亨介 
26 DF 杉岡 大暉 
27 MF 熊坂 光希 
28 MF 戸嶋 祥郎 
29 GK 永井 堅梧 
30 MF 古谷 柊介 
32 DF 山之内 佑成 
33 MF 岩永 創太 
36 FW 古澤 ナベル慈宇 
38 MF 島野 伶 
39 MF 中川 敦瑛 
40 MF 原川 力 
42 DF 原田 直 
43 MF 加茂 結斗(2種) 
44 MF 弓場 堅真 
45 DF 佐藤 桜久(2種) 
46 GK 松本 健太 
51 FW 満田 誠 
56 DF 常藤 奏 
64 MF 五十嵐 陵(2種) 
77 GK 若原 智哉 
87 MF 山内 日向汰 
88 DF 馬場 晴也 
※出場停止:なし

STAFF
ヘッドコーチ/栗澤 僚一
コーチ/大谷 秀和、染谷 悠太
GKコーチ/井上 敬太
フィジカルコーチ/松原 直哉
フィットネスコーチ/長谷 篤

2026.09.06 SUN/三協フロンテア柏スタジアム

19:03 KICK OFF

予想スターティングメンバー



Stop! THE KEY PLAYER

今シーズン、鹿島アントラーズから横浜F・マリノスに完全移籍したボランチ。川崎フロンターレと鹿島アントラーズでタイトルを獲得した経験値と、中盤での強固な守備をF・マリノスにもたらしている。レイソルは、前節のセレッソ大阪戦の前半で劣勢を強いられた原因のひとつに、セカンドボールの争いで後手に回ったことが挙げられる。知念の守備を掻い潜り、強度の高い中盤のバトルを制することができるかは、この試合のカギになりそうだ。

横浜F・マリノス
14 MF 知念 慶

[監督] スティーブ コリカ

- 1 GK 朴 一圭 
7 FW 遠野 大弥 
8 MF 喜田 拓也 
9 FW 谷村 海那 
11 FW ジョルディ・クルークス 
13 DF 井上 太聖 
14 MF 知念 慶 
15 DF 渡邊 泰基 
17 DF ジェイソン・キニョーネス 
18 FW オナイウ 情滋 
19 FW テヴィス 
20 GK 坪井 湧也 
21 GK 飯倉 大樹 
22 DF 角田 涼太郎 
23 FW 宮市 亮 
24 FW 近藤 友喜 
25 MF 鈴木 冬一 
26 FW ディーン・デイビッド 
27 DF 松原 健 
28 MF 山根 陸 
29 MF 樋口 有斗 
30 FW ユーリ・アラウージョ 
32 MF 田中 雄大 
33 DF 諏訪間 幸成 
34 MF 木村 卓斗 
35 DF 関富 貴太 
36 GK ルベン・ブランコ 
39 FW 高橋 輝 
40 MF 天野 純 
41 MF 松村 晃助 
43 FW 二田 理央 
44 DF トーマス・デン 
46 FW 浅田 大翔 
47 MF 三井 真(2種) 
54 DF 藤井 翔大(2種) 
55 DF 平野 遼(2種) 
※出場停止:なし

STAFF
ヘッドコーチ/ダニール・ヘイ
コーチ/迫井 深也、田島 一樹、
矢島 卓郎、古川 将大
GKコーチ/榎本 哲也、八巻 楽
フィジカルコーチ/田中 章博、齋藤 寛仁

KASHIWA REYSOL 2026/2027 GAME SCHEDULE

明治安田J1リーグ

節	日付	時刻	会場	対戦	結果
1	8月8日(土)	19:00	三協F柏	水戸ホーリーホック	○2-1
2	8月14日(金)	19:00	MUG国立	東京ヴェルディ	○3-1
3	8月21日(金)	19:00	三協F柏	V・ファーレン長崎	○4-2
4	8月29日(土)	18:30	アイスタ	清水エスパルス	○1-0
5	9月2日(水)	19:00	ハナサカ	セレッソ大阪	●0-2
6	9月6日(日)	19:00	三協F柏	横浜F・マリノス	-
7	9月11日(金)	19:00	サンガS	京都サンガF.C.	-
8	9月20日(日)	17:00	Gスタ	FC町田ゼルビア	-
9	10月9日(金)	19:00	三協F柏	ヴィッセル神戸	-
10	10月17日(土)	19:00	三協F柏	名古屋グランパス	-
11	10月21日(水)	19:00	味スタ	FC東京	-
12	10月24日(土)	15:00	メルスタ	鹿島アントラーズ	-
13	10月31日(土)	16:00	三協F柏	浦和レッズ	-
14	11月7日(土)	16:00	三協F柏	川崎フロンターレ	-
15	11月20日(金)	19:00	三協F柏	ジェフユナイテッド千葉	-
17	11月28日(土)	16:00	三協F柏	サンフレッチェ広島	-
18	12月6日(日)	16:00	三協F柏	アビスパ福岡	-
19	12月13日(日)	14:00	JFEス	ファジアーノ岡山	-
16	12月16日(水)	19:00	パナスタ	ガンバ大阪	-

※2027年開催分の詳細は、12月上旬に発表予定です。※今後、変更になる可能性があります。追加情報につきましては随時発表いたします。※開催日が未定となっている試合については、土日開催の節は金曜日に開催する可能性があります。
※1:2/24(水)に開催する可能性があります ※2:3/3(水)もしくは4/7(水)に開催する可能性があります ※3:柏またはG大阪がACL Elite準々決勝進出の場合は4/1(水)もしくは4/7(水)に開催する可能性があります ※4:柏がACL Elite準々決勝進出の場合は5/19(水)に開催する可能性があります ※5:柏または神戸がACL Elite準々決勝進出の場合は5/5(水-祝)もしくは5/26(水)に開催する可能性があります ※6:ルヴァンカップ決勝進出クラブの試合は4/21(水)、5/12(水)、5/19(水)、6/2(水)のいずれかに開催する可能性があります

2026/2027
Jリーグ
ヤマザキパナソニック
カップ

◎1stラウンド

節	日付	時刻	会場	対戦	結果
4回戦	10月3日(土)	19:00	三協F柏	ガンバ大阪	—

天皇杯 JFA第106回 全日本サッカー 選手権大会	節	日付	時刻	会場	対戦	結果
	2回戦	8月26日(水)	19:00	三協F柏	専修大学	○2-1
	3回戦	9月23日(水-祝)	17:00	三協F柏	FC今治	—

J.LEAGUE DIVISION 1 順位表

順位	チーム	勝点	試合	勝	引分	敗	得失点差
1	町田	13	5	4	1	0	11
2	柏	12	5	4	0	1	4
3	鹿島	12	5	4	0	1	3
4	広島	11	5	3	2	0	9
5	神戸	10	5	3	1	1	3
6	C大阪	9	5	3	0	2	0
7	水戸	8	5	2	2	1	3
8	FC東京	8	5	2	2	1	1
9	横浜FM	7	5	2	1	2	0
10	岡山	7	5	2	1	2	0
11	川崎	6	5	1	3	1	1
12	G大阪	6	5	1	3	1	-1
13	名古屋	6	5	2	0	3	-2
14	浦和	6	5	2	0	3	-4
15	京都	5	5	1	2	2	-2
16	清水	4	5	1	1	3	-2
17	長崎	4	5	1	1	3	-5
18	福岡	3	5	1	0	4	-1
19	東京V	2	5	0	2	3	-6
20	千葉	0	5	0	0	5	-12

2026年9月3日現在



——開幕5試合を終えて4勝1敗。序盤戦を振り返っていただけますか？

「明治安田百年構想リーグのこともあったので、序盤でつまづいたら下位になる可能性があるという危機感があつた中で、4連勝できたことは大きかったです。ただ、中3日あれば体力は回復すると思っていました。夏場の連戦ということで前節のセレッソ大阪戦は本当に難しかったです」

——序盤戦で感じた課題はどのようなことでしょうか？

「今年は連戦が多く、準備期間が少なくなるので、次の試合に向けて十分なコンディション調整ができない場合があります。そういう時に、セレッソ戦のように試合の入りで相手にペースを握られてしまう部分は改善しなければなりません。東京ヴェルディ戦でも開始直後に失点しましたし、特にアウェイゲームの試合の入りは気をつけなければならぬと感じました」

——連戦と暑さによる疲労、試合の入

り方、セレッソ戦はそこでうまくいかなかった印象でしょうか？

「相手の狙いどおりの展開にさせられてしまいましたし、ピッチ内でもっとコミュニケーションを取って、前半のうちに修正すべきでした」

——また、他の課題を挙げると5試合中4試合で失点していることが気がかりです。

「セットプレーからの失点については、課題がはつきりしているので、対策の仕方はあると思います。あとはボールロストからの失点です。崩された失点はないので、その明確な課題を改善していきたいと思います」

——今後はACLが始まれば、この先も連戦が続きます。この序盤の5試合で得られた学びや教訓はありますか？

「夏だからということもあると思いますが、連戦の難しさを感じました。戦い方の面でも、うまくいかなかったときにそのまま進んでしまうと、ハーフタイムまで我慢の時間が続くことにな

ります。そこは連戦の中でもうまくコントロールしなければいけないと感じましたね。ACLが始まれば、情報が少ない相手と試合をするわけですし、そこで勝点を落とすと、連戦でリーグの試合を戦うとなると、そちらの試合にも影響が出てしまうと思うので、連戦の中でもいかに泥臭く戦って勝点を取れるかが大事ですね」

——今節は、その課題と反省を生かせるかが問われると思います。横浜F・マリノスの印象はいかがですか？

「個のクオリティの高さは昨シーズンから感じていましたが、それが統一されて、より良いチームになったという印象です。チームとしてやるのが昨シーズンよりもはつきりして統率されていると思います。天野純選手は一本のパスで決定機を作れるクオリティの高い選手なので、一瞬の隙も与えてはいけませんし、チームとしてもボランチがしっかり守備をしてるので、全体的にコンパクトです。その網にかか

連戦の中でも泥臭く

らないようにすることが重要だと思います」

——ここまで5試合は、杉岡選手が左足を振るシーンが増えていきます。それは得点の意識の表れでしょうか？

「そうですね。シュートの意識はかなり強いですが、僕以外にも、みんながシュートを強く意識しています。ミドルシュートを狙うだけで停滞感を打ち破れますし、それが入ればチームに勢いも出ます。あとは一人ひとりがもっと精度を上げて、相手の脅威になれば、今度はゴール前のスペースが空いてくると思うので、その意識は持ち続けてプレーしていきたいです」

——最後にサポーターにメッセージをお願いします。

「まだまだ連戦が続きますが、僕たちは目の前の1試合1試合に集中していきます。今節はホームゲームですし、そのアドバンテージを十分に生かせるように頑張ります」

Focus

26DF Daiki SUGIOKA

杉岡大暉

